

★「ソーシャル・エンタープライズ」とは、社会的・地域的課題に事業の手法を用いて解決を図る「社会的企業」を意味します。

Contents

- 1 ▶ 反町カフェぼらん おかげ様で6周年
- 2 ▶ 「はたらっく・ざま」スタッフ研修報告
- 3 ▶ 10月オンライン茶話会報告
- 4-5 ▶ 参加報告：虐待経験者たちの『REAL VOICE』上映と第7回首都圏若者サポートネットワークシンポジウム
- 6 ▶ 参加報告：新しい働き方フォーラム
- 7 ▶ 市民連帯経済つながるかながわ 活動報告
- 8 ▶ ぼらん便り・今後の予定・編集後記

発行：特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ協会
〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル3F
TEL：045-212-1421 FAX：045-663-3137
Email：npo@wco-kyoukai.org
発行責任：理事長 上田祐子
発行部数：500部



反町カフェ☕

ぼらん

おかげ様で6周年

反町カフェぼらんは
2018年11月5日にオープン。
今年6周年を迎えました。

地域のさまざまな団体とつながって

神奈川県で開設を決めた当初、よそ者の私たちは、地域のキーパーソンもどんな団体がいるのかもわかりませんでした。今では地元松ヶ丘自治会の回覧版や掲示板を活用させていただけるようになりました。学校地域連携コーディネーターや沢渡三ツ沢地域ケアプラザが間に入って、今年も松本中学の支援級の生徒たちの体験実習を実施しました。精神障がい者の事業所「青桐茶房」や、依存症の支援団体 RDP 横浜、地域の居場所「ふれあいっこ三ツ沢」、神奈川県多文化共生の会など多くの団体とつながることができました。

カフェのお得意さんも増えています。意外と男性客が多く、お客さん同士が仲良くなったり、地域の人がボランティアになってくれたりしています。



ぼらんの目指すもの

就労支援事業をする中で、就労したあとも気軽に相談ができる場所が欲しいと2016年に居場所検討プロジェクトを設置して次のような居場所をめざしました。

- ①生活の学校
- ②中間的就労の場
- ③相談ができる場
- ④学習の場
- ⑤地域とつながる



地域の居場所からまちづくりへ

今年の神奈川区のセーフティネット会議（支援調整会議）で、実習修了した人が反町カフェぼらんのボランティアとしてつながった事例が報告されました。役所の支援はいつか切れてしまうけれど、「ぼらんを通じて地域とつながることができる」と安心と言われていています。神奈川県は生活クラブだけでなく福祉クラブの組合員も多く、反町カフェぼらんを拠点として運動グループや地域の人・団体と少しずつまちづくりに発展できたらいいなと思っています。
(松川 由実)